

出穂期が近づいています。穂いもちの発生に注意しましょう！

7月上旬（7/8～10）の水稻巡回調査において葉いもちは平年に比べ多い発生でした。このため、発生を確認した地点を中心に県北14地点、県央12地点、県南12地点について7月17、20日に調査したところ、発生ほ場率（71.7%）・株率（4.3%）ともに増加していました（図1）。

また、一部の地域では多発生していたり、進展型病斑が確認され、7月中旬の日照時間が少なく、高湿度の日が多く、[BLASTAM](#)による感染好適条件が頻繁に見られる地域もあることを考えると、地域によっては穂いもちが多発するおそれがあります（表1）。

中山間地域の常発地や箱施用剤などの予防剤を実施していないほ場では特に注意が必要です。

発生状況をよく観察し、穂ばらみ期から穂揃期に穂いもちの防除を行いましょ。その後も降雨が続く場合には、穂揃期後7～10日頃に追加防除を行いましょ。

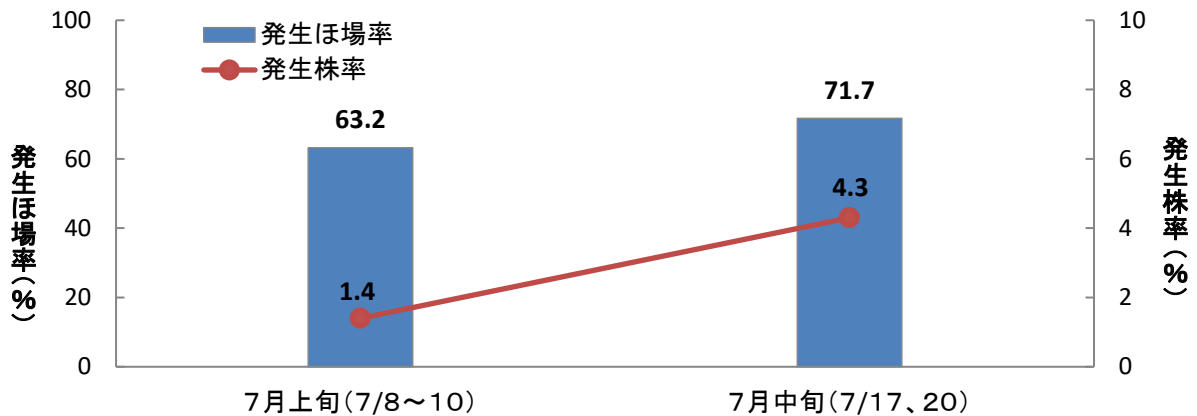


図1 葉いもちの発生状況調査結果（県全体：県北14地点、県央12地点、県南12地点）
 ※ 7月上旬の調査でいもち病の発生があった地点のみの値

表1 [BLASTAM](#)による葉いもちの感染好適条件の判定結果（令和2（2020）年7月10日～7月20日）

日付	那須	黒磯	大田原	塩谷	真岡	宇都宮	今市	鹿沼	小山	佐野
7/10	—	—	—	—	●	—	●	—	●	●
7/11	●	●	●	●	—	●	●	●	—	—
7/12	—	—	●	●	—	—	—	—	—	—
7/13	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/14	○	●	●	●	●	—	●	●	●	●
7/15	○	—	—	—	●	—	—	—	—	●
7/16	○	●	○	—	—	—	●	—	—	—
7/17	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/18	○	○	○	○	○	●	○	○	●	—
7/19	—	○	—	○	●	—	—	—	●	●
7/20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

●：感染好適条件 ○：準感染好適条件 —：感染好適条件なし

[BLASTAM](#)：気象庁のアメダスデータを用いて葉面の湿潤時間を計算し、いもち病（葉いもち）の感染しやすい条件を推定するシステムを農業環境指導センターホームページで公開しています（6～8月）。

○防除対策については以下の情報を参考にしてください。

令和2（2020）年7月10日発表 植物防疫ニュースNo.6

[いもち病が発生しています！ほ場の見回りをを行い、早期防除を行いましょ](#)

詳細は、農業環境指導センター（TEL 028-626-3086）までお問合せ下さい。

病害虫情報発表のお知らせは「農政部ツイッター(@tochigi_nousei)」、農業環境指導センターホームページ (<http://www.jpnp.ne.jp/tochigi/index.html>) でもご覧になれます。



6月～8月は「栃木県農薬危害防止運動」の実施期間です。
 いつものチェック！ 農薬を使用する際は、ラベルをよく読み正しく使いましょ！